

# 三匹のあり

小川未明

青空文庫



川の辺に、一本の大きな木が立っていました。その下にありが巢を造りました。どちらを見まわしても、広々とした圃でありましたので、ありにとつては、大きな国であつたにちがいありません。

ありには、ある年、たくさんな子供が生まれました。それらの子供のありは、だんだんあたりを遊びまわるようになりました。するとあるとき、それらの子ありのお母さんは、子供らに向かつていいました。

「おまえがたは、あのくるみの木に上つてもいいけれど、けつして、赤くなつた葉につかまつてはならぬぞ。いまは、ああしてどの葉を見ても、真つ青だけれど、やがて秋になると、あの葉が、みんなきれいに色がつく、そうなるると危ないから、きつと葉の上にとまつてはならぬぞ。」と、戒めたのでありました。

ある日のこと、五匹の子ありが外に遊んでいて、大きなくるみの木を見上げていました。「なんと巨大な木だろう。こんな木が、またとほかにあるだろうか。」と、一匹のありがいいました。

「まだ世界には、こんな木がたくさんあるということだ。これより、もっと大きな木があ

るといふことだ。」と、ほかの一匹の子ありがたいました。

「お父さんや、お母さんは、あの木のてっぺんまで、お上りになつたといわれた。僕たちも、どこまでいけるか上つてみようじやないか。」と、ほかの一匹のありがたいました。ついに五匹の子ありは、大きくなるみの木に上つていききました。そこで、中途までいつた時分には、五匹とも疲れてしまつて、しばらく、枝の上に休んで、物珍しげに、あたりの景色などをながめていました。

「なんとという、大きな河だろうか。」といつて、一匹のありは下を見おろしてました。「なんとという広い野原だろう。」と、ほかの一匹が驚いていいました。太陽は、ちょうど木のてっぺんに輝いていました。するとそのとき、

「あの枝に、あんなにきれいな葉があるじやないか。あのそばまでいつてみよう。」と、一匹のありが叫びました。

二匹のありは、あの赤い葉こそ危険だと、お母さんやお父さんがいわれたのだから、ゆくのはよしたがいいといいました。けれど、ほかの三匹のありは、どうしてもいつてみるというはりました。

二匹の子ありは、そこから三匹のお友だちに別れて地の上へ帰ることになりました。そ

には、こいしいお母さんやお父さんがすんでいられました。そして、三匹の子ありは、赤い美しい葉を目標して上つていきました。三十分もたたないうちです。風がきますと、いままでの、美しい赤い葉は、ぱたりと枝から空に離れて、ひらひらと舞つて、下の川の中に落ちてしまいました。いうまでもなく、その赤い葉の上には、三匹の子ありがとまっていたのでした。

三匹のありは、あまり不意なことにびつくりしましたが、気がついたときには、赤い葉の上に乗つて、川の上を流れていたのです。三匹のありは、いまはじめてお母さんが、赤い葉の上に乗つてはいけないといわれたことを悟りましたけれど、どうすることもできませんでした。

「さあ、どうなることだろう。」と、三匹のありは、心細くなつて思案をしました。果てしなく、川の水は、日に輝いて野原の中を流れていました。どうして、どこへゆくとしようなことなどが、小さななりに考えがつきましよう。三匹のありは、一つとこころに固まつてふるえていました。そのうちに、また風が吹いて、赤い葉は岸に着きました。三匹のありは、やっとそこからはい上がつて、危うく命が助かつたのです。そこは、思ったよりもいいところでした。美しい花が咲いていました。きれいな草の生えている丘もあり

ました。三匹のありは、その日から始めて、知らない土地に巢を造って働いたのです。幾日か日がたつと、このあたりの土地にも幾分か慣れてきました。それにつけて、三匹のありは、父母のすんでいる故郷を、こいしく思つたのです。けれど、いくら思つても、帰ることができませんでした。三匹のありは、いつか、みんながお父さんになつたのであります。そして、三匹のありにも子供がたくさん産まれました。けれど、ありは決して、子供らに向かつて木に上つても、赤い葉に止まつていいとはいいませんでした。やはり、昔、お父さんや、お母さんが自分たちを戒めたように、

「おまえがたは、けつして、赤い葉につかまつてはならない。」といつたのです。

それは、いくらしあわせになつても、お父さんや、お母さんに、あわれないことは、なによりも不幸なことであつたからであります。

# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 2」講談社

1976（昭和51）年12月10日第1刷

1982（昭和57）年9月10日第7刷

※表題は底本では、「三一匹《びき》のあり」となっています。

※「生まれました」と「産まれました」の混在は、底本通りです。

入力：ぷろぼの青空工作員チーム入力班

校正：江村秀之

2013年10月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 三匹のあり

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>